

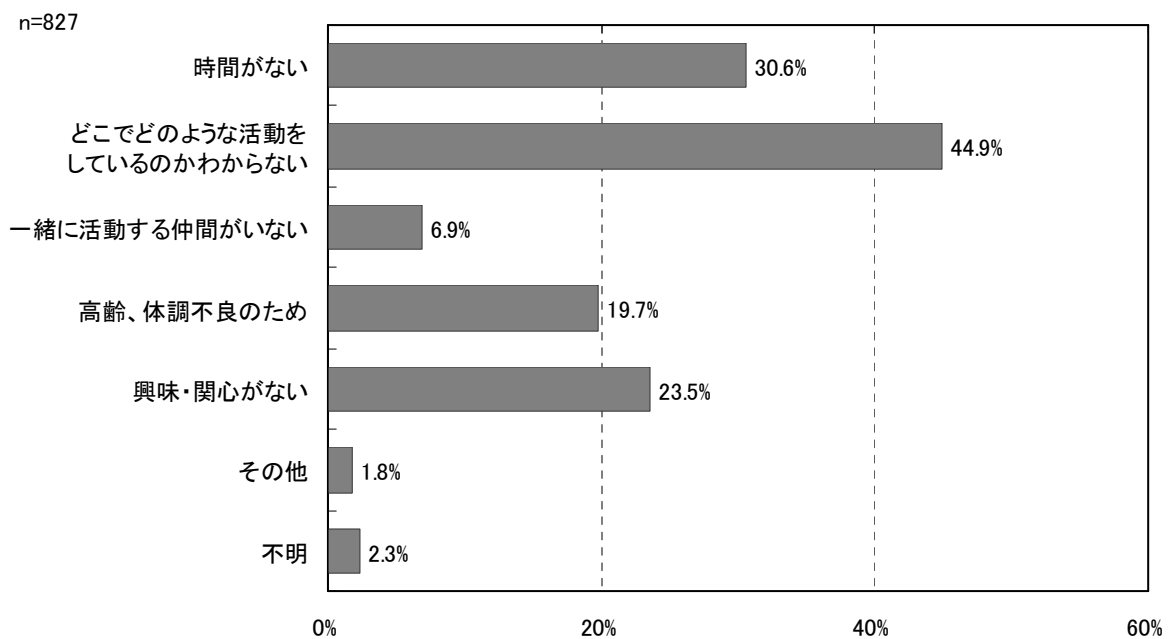
問 55-1 市民公益活動に参加しない理由

問 55 で「**3. 活動したことがない**」と回答された方のみお答えください。

活動しない理由は何ですか？該当するものをすべてお選びください。

1. 時間がない
2. どこでどのような活動をしているのかわからない
3. 一緒に活動する仲間がない
4. 高齢、体調不良のため
5. 興味・関心がない
6. その他 ()

問 55 で「活動したことがない」と回答した 827 人について、「どこでどのような活動をしているのかわからない」が 44.9%と最も高く、次いで「時間がない」(30.6%)、「興味・関心がない」(23.5%)の順となっている。



問 56 「協働」の認知度

あなたは、「協働」という言葉を知っていますか？

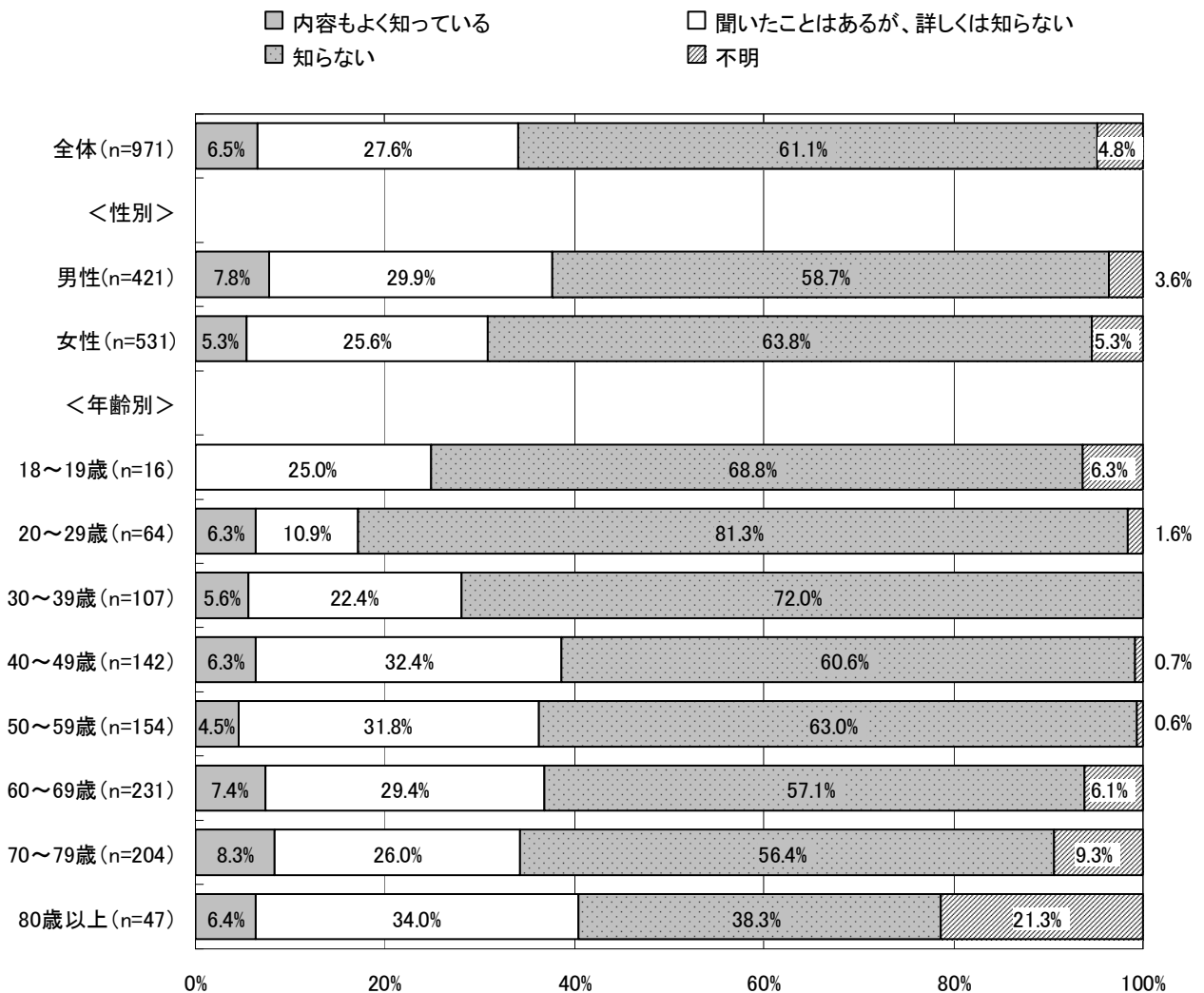
1. 内容もよく知っている
2. 聞いたことはあるが、詳しくは知らない
3. 知らない

※ 「協働」とは、公益という共通の目的のもとに、行政と市民(市民公益活動団体等)が互いの立場を認めながら、対等な関係で連携・協力し、共通課題の解決に当たる取組みです。

「内容もよく知っている」(6.5%)と「聞いたことはあるが、詳しくは知らない」(27.6%)を合わせた認知率は34.1%となり、「知らない」は61.1%となっている。

性別にみると、認知率は男性(37.7%)が女性(30.9%)より6.8ポイント上回っている。

年齢別にみると、認知率は80歳以上が40.4%と最も高く、20歳代は17.2%と最も低くなっている。



問 57 行政の市民公益活動支援施策

協働のまちづくりを進める上で、行政が市民公益活動団体支援のために行う施策として、最も相応しいと思うものは何ですか？該当するものをすべてお選びください。

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1. 活動に役立つ情報の提供 | 2. 団体同士が交流できる機会や場の提供 |
| 3. 活動に役立つ講座等の開催 | 4. 補助金や助成金による資金の支援 |
| 5. 何でも相談できる窓口の整備 | 6. 活動拠点の提供 |
| 7. 市民参画ができる仕組みづくり | 8. その他() |

「活動に役立つ情報の提供」の割合が47.2%と最も高く、次いで「何でも相談できる窓口の整備」(30.6%)、「市民参画ができる仕組みづくり」(24.7%)の順となっている。

